

A011		災害から見た19世紀京都史	
英名科目名	19th century Kyoto as a disaster-stricken city		
大学名	京都薬科大学		
連絡先	教務課 TEL:075-595-4613 FAX:075-595-4792		
担当教員	鈴木 栄樹（京都薬科大学名誉教授）		
開講期間	2021年04月10日(土)～2021年07月24日(土) 2講時 10時50分～12時20分(毎週土曜日)		
開講形態	前期・春学期	開講曜日・講時	土曜日 2講時
単位数	2	履修年次	1年以上
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	45		
単位互換生定員	40	京カレッジ生定員	5
試験・評価方法	筆記試験（80％）・中間レポート（20％）		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	20,000円		
別途負担費用	なし		
その他特記事項			
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
<p>一般的に言っても、都市というものは、居住人口の多さはもちろんのこと、人やモノの流入も多く、政治的・社会的・経済的な諸機能が集中しているため、様々な災害がおきやすく、また被害規模が大きくなりやすい。平安京以来の王権の所在都市でもあった京都は、歴史的にみて、とくにそうした特徴が著しい。</p> <p>本講義では、開国・明治維新という動乱の時期をさむ19世紀の京都におけるもろもろの災害をとりあげ、その被害のあり方、災害に対する行政や人々の対応、復興の過程、災害からの学び（防災や予防）などについて、京都における社会システムと関わらせながら跡づけてみる。そうすることで、京都という特徴ある都市の歴史をダイナミックに捉えられるようになることを目指したい。</p> <p>なお、受講の前提として、当該時期の歴史に関する基礎的な知識を持っていることが望ましい。</p>			
講義スケジュール			
第01回 イントロダクション、天明の大火とその後 第02回 文政の大地震と京都 第03回 天保の飢饉と京都(1) 第04回 天保の飢饉と京都(2) 第05回 天保の改革と京都 第06回 嘉永・安政期の京都(1)物価高騰と飢饉 第07回 嘉永・安政期の京都(2)安政の大火とその後 第08回 開国・安政の大獄と京都 第09回 安政期のコレラ流行と京都 第10回 禁門の変とどんどん焼け 第11回 慶応期の物価高騰と飢饉 第12回 戊辰戦争と京都 第13回 明治期のコレラ流行と京都(1) 第14回 明治期のコレラ流行と京都(2) 第15回 まとめ			
教科書	使用しない（毎回、プリント資料を配付する）		
参考書	吉越昭久・片平博文編『京都の歴史災害』思文閣出版、2012年 三木晴男著『京都大地震』思文閣出版、1979年 丸山俊明著『京都の町家と火消衆』昭和堂、2011年 小林丈弘著『近代日本と公衆衛生』雄山閣出版、2001年		